

探究アワードが始まりました！

今の日本では、探究型学習の必要性が叫ばれています。様々なテーマについての課題を見つけ、その課題を解決するためにはどうすれば良いのかを考えることが、卒業後の社会では高校以上に必要とされます。

みなさんが取り組んでいく探究アワードは、必ずみなさんの未来にプラスになることでしょう。未来とは、来年のことであり、卒業後のことでもあります。つまり、みなさんの就職進学で、探究アワードでの経験も生きる、ということです（でも3年生は活かしづらいかな・・・）。

進路活動の夏がやってくる

突然ですが問題です。大学や専門学校のオープンキャンパス（以下オーキャン）は、誰のためのものでしょうか。正解は、すべての高校生のためのものです。つまり、**3年生だけでなく1年生も2年生も行って良いのです。**

第2問は○×問題です。一度オーキャンに行ったらその学校に入らなくてはいけない、○か×か。正解は×です。オーキャンに行ったからと言って、そこを受験しなきゃいけない、なんてことはありません。なので、**少しでも興味がある学校があったら、オーキャンに参加してみよう！**

さらに今年は学校訪問型のオーキャンが中止になったせいで、インターネット経由で動画によるオーキャンや説明会がほとんどになっています。つまり！**今までは実際にその学校に行かなければ分からなかった情報や説明が、ウェブでいくらでも見ることもできるのです！！**

また、これを読んでいる3年生の中には、もう進路活動に入っている人が何人もいます。1、2年生のみなさんは保護者の方々と進路についての話し合いをしてきてください。夕食後のひとときや移動中の車内、なにげないひとときを使っての話でもけっこうです！それを親子話し合いシートに書いて、夏休み明けに提出してください。あなたの思いと保護者の望みは、そりゃあ違うでしょうが、話し合ってわかり合う努力をしてください。

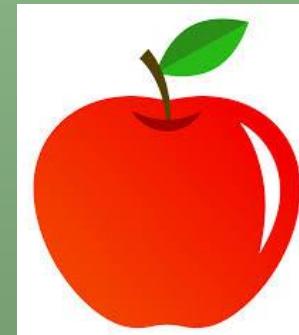


短期連載「進路面接に思うこと」

第2回<全4回> 人は見た目が大事

この世の中、男性はイケメンがもてて、容姿のキレイな女性がもてはやされますが、それを良く思わない人もいます。あいつは外見だけで性格が悪いとか、あの子は八方美人でみんなからチャホヤされていい気になっているとか。しかし一方で、人は外見じゃなくて中身だと言う人もいます。どんなに外見が良くたって、中身が（性格が）ともなっていないければ意味がないと。それでは一体、外見と中身のどちらが大事なんのでしょうか。

誤解を恐れずに言うなら、人は見た目です。とてもとても美味しいリンゴがあったとして、もしそれが少し色が悪くて虫食いだったらあなたは食べようとするでしょうか。どんなに中身が（性格が）すばらしくても、外見が悪くならそれを知りたいと思うのでしょうか。また、外見は中身と比べてある程度の努力で改善できることが多いものです。見た目を良くしていると、中身をちゃんと知ろうとする人も必ずいます。そこで中身を気に入ってくれなかったら、それはもうしょうがないです。



面接でも同じことが言えます。あなたのノックから始まる面接試験は、実は入室して席に着くまでに評価がほとんど決まります。つまり第一印象があなたの面接試験の結果をほとんど決めます。ノックは適切か、礼の角度は大丈夫か、身だしなみは整っているか、表情は、目線は、所作は落ち着いてできているか。面接官はつぶさにあなたを観察しています。たかが10何分間の勝負で、良い第一印象を与えられない生徒が落ちるのは当たり前のことです。着席したあとの質問は最終確認だと思ってください（もちろん変な答え方をして中身がおかしいと思われたら台無しです）。

あなたが持っている良い中身を公平に見てもらうために、しっかり見た目を整えることが、合格への道につながります。

8月の進路行事

- 19日（水）始業式
- 21日（金）探究アワード 地域課題探究①
- 28日（金）生活体験発表日勝地区大会
- 31日（月）個人面談週間開始（9／4まで）